

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実特別版”

『月刊現代 - 私はなぜ「タブー」に挑んだのか - 』

第1回

『週刊現代』に続き『月刊現代』もJR東日本の革マル浸透問題を告発した。本紙は筆者の了解を得て、驚くべきこの事実をシリーズで紹介することとした。

「なぜ今まで、あなた方は、この問題に、見て見ぬふりを続けてきたのか」

2007年4月1日、JR各社は「戦後最大の構造改革」といわれた旧国鉄分割民営化から20年を迎える。この節目の年を前に私は、「国鉄改革最大の負の遺産」といわれる「JR革マル派問題を改めて検証しよう」と試みた。それが昨年7月から今年1月にかけて、『週刊現代』誌上に24回にわたって掲載された連載「テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実」だった。

開始から約半年間、旧国鉄関係者から多くの励ましの声をいただいた一方で、メディア関係者を中心に様々な批判を頂戴した。連載自体を疑問視し、批判する彼らは決まってこう言った。「なぜ今さら、『JR革マル派問題』を取り上げる必要があるのか」

しかし私は、こんな疑問を投げかけてきた同業者に、逆にこう問いたい。「なぜ今まで、あなた方は、この問題に、見て見ぬふりを続けてきたのか」

日本革命的共産主義者同盟革命的マルクス主義派（略称「革マル派」）。「反帝、反スタ」（帝国主義打倒、スターリン主義打倒）を掲げ、共産主義暴力革命を目指す新左翼セクトだ。63（昭和38）年の結成以来、10年余にわたって、中核派など対立セクトと陰惨な「内ゲバ」を繰り返していたが、70年代後半からは組織拡大に重点を置き、党派性を隠して基幹産業の労組やマスコミなど各界各層に浸透していった。

約5000人の構成員を擁するといわれ、極めて非公然性、秘密性、そして排他性の強い組織だ。過去に「内ゲバ」という名の殺人を繰り返し、盗聴や盗撮、住居侵入や拉致監禁などの非合法的な手段で、自らと主義主張の違う人たちを「Terreur」（フランス語で「恐怖」）に陥れてきた彼らを、「テロリスト」と呼ぶことに私は、何ら躊躇を覚えない。

ただ、私は連載で彼らの「思想」を問題にしたことはないし、今後もそのつもりはない。むしろジャーナリズムに携わる者として、彼らの「思想・信条の自由」は、それこそ職を賭して守らなければならないと考えている。

私が問題としているのは、彼らの「思想」ではなく、その「行動」だ。